

心に蒔く種

祝 東小

150周年

東小学校ができてから、今年で150年になります。

150年前というと、福沢諭吉が書いた『学問のすゝめ』の初版が出版された年です。

遊びや読書も含めた「学ぶ」ことの大切さは、今も変わりありません。東小に通うひとりひとりがついでできた150年のバトンリレーが、今、みんなの手に引き継がれています。

これからも良い伝統を後輩たちに引き継いでいきましょう。



10月31日まで、ハロウィンに関連する本を展示しています。
読んでみてください。

(高学年図書室... 黒ねこ、魔女、ハロウィン / 低学年図書室... おばけ大しゅうごう)

ハロウィンって、なに？



イギリスやアメリカ合衆国で10月31日の夜におこたわれる行事。11月1日は聖人を記念する万節祭という、キリスト教の祝日で、ハロウィンはその前夜祭にあたる。

もともとは、イギリスの古代ケルト人の祭りで、ケルトでは11月1日が新年、10月31日が大みそかにあたった。そして、大みそかには死んだ人の魂が家に戻り、悪霊や魔女がさまようといわれていたので、死霊や悪霊などを家にいれておいたために、かがり火(屋外でともす火)をたいたという。また、これらの祭りが、秋の収穫を祝う祭りとともに、キリスト教に与り生まれ、アメリカ合衆国では、子どもたちの祭りとして定着した。カボチャなどをくりぬいてつくったちょうちんを窓辺にかざり、魔女や怪物などに仮装した子どもたちが、「トリック・オア・トリート(お菓子をくれてほしい、いたずらするよ)」といいながら近所の家をまわり、お菓子をもらう。

(ポプラ社 第三版 より)



10月31日に本を借りたら、「トリック・オア・トリート」と水口に言ってみてください。

おおかみしん 大岡信さんの本を読んだこと、ある？

おおかみしん 大岡信さんって、どんな人？ 1931 ~ 2017

みほさんは、大岡信さんを知っていますか？
大岡さんは1931年に三島で生まれて、みほさんと同じように三島で育った詩人です。ふるさと・三島を大切にしていました。三島ならではの水についての作品もあります。
大岡さんは、自分で詩を作っただけではなく、世界の詩、短歌・俳句などを選んで紹介したり解説したことで有名なです。これらのことが認められて、三島市の名誉市民となっています。

このたび、三島の全小学校に、大岡さんに関する本を巡回展示（順番に回って展示すること）します。令和4年度は7小学校を回ります。
大岡さんが翻訳（他の国の言葉から日本語になおすこと）した絵本のほか、小学生のみほさん向けの本を選びました。ぜひ、手にとって読んでみてください。
ふるさとの先輩・大岡信さんについて知ってもらえると、大変うれしいです。

（ことばのたね実行委員会…大岡信さんがまいてくださった「ことばのたね」をこれからまきまわりたいと活動している会です。）

大岡さんは、「ことばのおもしろさ」に気がついてほしいと思っていたそうです。大岡さんが書いた本を案内人にして、「ことばのおもしろさ」の世界へ行ってみましよう。

